

2020

第30号

みたか 事業団 だより



社会福祉法人

三鷹市社会福祉事業団

屋外歩行訓練(老人保健施設)

老人保健施設はなかいどう

ショートステイ(短期入所療養介護)

はなかいどうでは、要介護認定を受けて在宅で生活されている方や、そのご家族を支援するため、ショートステイ(短期入所療養介護)を実施しています。

はなかいどうは、地域に開かれた施設として、開設当初から在宅支援や入所後の在宅復帰を目指し、近隣の老人保健施設では受け入れが殆どなかったショートステイのサービスを提供してきました。

現在では61床のベッド数に対して、常に12~13床をショートステイ専用床として準備し、軟柔な対応ができるようにしています。利用される方の目的として、自宅で介護をされている方の介護休養が多くを占めており、それ以外にもご家族の外出や体調不良、利用者の機能訓練など、様々な目的で利用されています。

利用期間は1週間~10日程度で、毎月利用される方も多く、他の在宅サービスと組み合わせ、住み慣れた自宅での生活を継続されています。ご家族がひと息つける時間として、ショートステイは重要な役割を果たしています。



在宅生活を支援する機能訓練

ショートステイ利用期間中は、理学療法士による個別リハビリテーションを行います。そのほかにも口腔体操や全体体操、さらには在宅生活を継続するための個別メニューを計画し、ご自身で出来ることはご自身で行っていただくよう職員が促しています。こうした取り組みにより、ショートステイから帰った後は調子がいいと実感のこもった声もいただきます。

例えば、ご本人に麻痺があり、ご家族が大変な思いをしてトイレでの介助をされていたところ、施設で工夫した方法で訓練し、軽介助で出来るようになった方もいます。また、自宅では一日の殆どをベッドで横になっていた方が、職員が勧めた歩行に毎日取り組むことで自発的に生活できるようになった方もいます。



こうしたサポートにより、工夫してできることを増やして、介護の負担を減らし、ご本人やご家族にとってより良い暮らしになることを、私たちは目指しています。

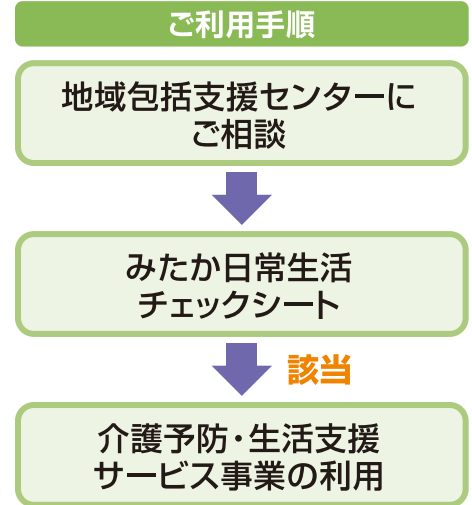
介護予防・日常生活支援総合事業

新型コロナウイルスの影響で外出を自粛し、体力や筋力が落ちてしまった方もいるかと思います。そんな不安を抱えている方に、介護予防・日常生活支援総合事業をご紹介します。

まず、地域包括支援センターの職員がご自宅に訪問し、みたか日常生活チェックシートを用いてご本人の状態確認を行います。該当項目がありましたら、通所型サービス等※1のご利用が可能となります。

運動の機会を設け、地域の仲間と繋がり支え合いながら、いつまでも自分らしい生活を続けていきましょう。なお、利用にあたっては他にも条件がありますので、詳しくはお住まいの地域包括支援センターにご相談ください。

※1通所型サービスとは、要介護状態に陥ることを予防する為に、一定期間継続して機能訓練等を行うサービスのこと。



「あんしんキーホルダー」登録のご案内

三鷹市では高齢者の方に、登録番号が記載された「あんしんキーホルダー」をお渡しする事業を行っています。このキーホルダーを携帯することで、外出先での緊急時などに医療機関や警察署、消防署等が地域包括支援センターへ連絡を取り、身元の確認やご家族への連絡が可能になります。繋がる安心を携帯して、積極的に外出してみてください。



縦2.3センチ、横6.5センチ。裏面に登録番号とポキの絵が入ります。

受付は予約制です。「三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう」内で行います。また、下記で出張受付も行います。

- 井の頭コミュニティセンター(新館2F)
- 井の頭地区公会堂
- 井の頭東部地区公会堂

対象: 65歳以上の三鷹市民 / 費用: 無料

登録内容: 住所、氏名、性別、年齢、電話番号、緊急連絡先、医療情報など(年1回更新)

申し込み: 三鷹市井の頭地域包括支援センター ☎(0422)44-7400

※井の頭地区以外に在住の方は、担当地区の地域包括支援センターにお問い合わせください。

保育園・こども園

三鷹西野保育園 「夏祭り屋さんごっこ」

今年は、新型コロナウイルス感染拡大防止のために行事としての夏祭りは中止となってしまいました。年長のつくしんぼ組では夏祭りはできないけれど、それに代わる経験を子どもたちと保育の中で一緒に楽しみたいと思い、担任から「どんなことをやりたい?」と投げかけたところ「お祭り屋さん(屋台)がやりたい」という声が多数上がりました。

そこで子どもたちと「どんなお店屋さんをするか?」という話し合いを始め、「チョコバナナ屋さん」「ヨーヨー釣り」「金魚すくい」「焼きそば屋さん」の四つに決まりました。

お店に並べる材料や看板まで、すべて子どもたちが考えて「チョコバナナって何で作る?」「上につぶつぶのがついてるよ」と意見を出し合いながら作りました。金魚すくいは梱包材に油性マジックで色を付けて、焼きそば屋さんは毛糸の麺に色画用紙で野菜や卵などトッピングを作って、見た目も美味しそうなのが出来上がりました。どの子どもも目をキラキラさせながら取り組みました。クラスの子や年中クラスを招待して密にならないように工夫しながらの「夏祭り屋さんごっこ」。

自分たちで考えた夏祭りの遊びを通して、今年だからこそその思い出や経験となりました。



三鷹ちどりこども園 「はじき絵」

絵を描くことや折り紙を様々な形に折ることなど、手先を使う遊びが好きな子どもたち。4歳児の活動で、「はじき絵」をしました。まず、Tシャツ型が描かれている紙に白いクレヨンで自由に好きな絵を描いていきます。白地に白いクレヨンで描くため、見えにくく描くたびに「見えないね」と目を凝らしながらも一生懸命に描く姿がありました。その後、薄めに溶いた絵の具を塗っていきます。自分たちが描いた白いクレヨンの絵が浮き上がってくる様子に、子どもたちはとても喜んでいました。様々な色を使って白い部分がなくなるまで塗る子や、同じ色で統一する子、2色・3色ほど重ねて塗る子とそれぞれ色の使い方や塗り方の違いがありました。また、白い色のクレヨンの上を「ここが塗れないんだよ」と何度も重ね塗りする子も見られ、それぞれの子どもの発見にも違いがあるのだと感じました。出来上がると、「早く飾ってね」とアピールする子も見られました。

今後も、子どもたちが描くことや作ることを楽しめるような素材作りをしていけたらと思います。



保育園・こども園

三鷹駅前保育園 「感触あそび」

三鷹駅前保育園では、感触あそびを意識的に取り入れていています。いろいろな感触を乳児の時からたくさん経験できるよう、手や足で様々な素材に触れながら五感を使って遊んでいます。屋上では、のりえのぐ(のりとえのぐを混ぜたもの)や氷を触ってみたり、室内では小麦粉ねんどをしたり、人工芝の上を素足で歩いてみたり、新聞紙をちぎって遊んだり、たくさんの経験をしました。手についたのりを紙につけて遊ぶ姿や、氷の冷たい感触にびっくりした様子を見せてくれた子どもたちでした。

最初はドキドキしていろいろなものに触れない子もいますが、大人がやっているのを見たり、友だちが楽しんでいるのを見て触ってみようかなと手をのばしたりと、徐々にやってみみたいという気持ちが出てくるようです。今後は、寒天や片栗粉など他の感触のものも用意して、子どもたちがドロドロ、ベタベタ、サラサラなど、いろいろな感触に触れて遊ぶことができるようにしていきたいと思っています。



三鷹南浦西保育園 「来年の夏も楽しみ！」

三鷹南浦西保育園では、毎年5歳児クラスがカブトムシを育てています。今年は20匹以上の幼虫がカブトムシになりました。子どもたちが交替で世話をしているのですが、その日の当番ではない子どもテラスに出てきて一緒に観察するほど、毎日成長を楽しみに虫かごをのぞき込んでいます。カブトムシの変化にもいち早く気が付き、大きな幼虫がいることやさなぎになったことなど、目を輝かせて周りの保育者や友だちに報告していました。

ある日、土の中に2ミリ程度の白いものがあることに気が付くと「これなんだろうね?」「たまごかな?」と不思議そうにしていた子どもたち。観察を続けていくうちに幼虫に変化し、「あれはやっぱりたまごだったんだね」という確信を得たようです。身近な生き物に触れながら、たくさんの不思議や発見が子どもたちの中で興味関心へとつながっています。

また、テラスでカブトムシの糞の掃除や餌やりをしていると、他のクラスの子ともたちも「カブトムシ?」「ぼくもみたい」と近くに寄ってきてじっと見ている姿があります。「さわってみる?」と年下の子に優しく声をかけたり、「にげないように、つのもつといいよ」と触り方を教えてあげたり、子どもたちの関わりも広がっています。5歳児クラスの様子を見て、4歳児クラスの子も「ようちゅうさがしたい」「そだてたい」と言いながら園庭にあるプランターをシャベルで掘り、幼虫を探している姿を見ると、よい刺激を受けているのだと感じました。

今年もまたカブトムシが小さな卵を産んでくれました。幼虫になり、さなぎから成虫になってまた卵を産む…代々受け継がれている三鷹南浦西保育園のカブトムシが、また来年の夏も大きな成虫になってくれることを願い、子どもたちと一緒に楽しみながら育てていきたいと思っています。



保育園・こども園

三鷹赤とんぼ保育園 「心臓のはなし」

ある日の事、年長のクラスの子がみんなの前に立って話す時、「心臓がドキドキしてる」と少し緊張していました。緊張をほぐすために、「ねずみはもっと心臓のドキドキが速いんだよ」と担任が教えると、「なんで?」「じゃあクジラは?」と、他の子どもたちも興味を湧いたようでした。後日、色々な動物の心拍の速さをメトロノームで再現して聞いてみました。まずは人間の速さ、ねずみ、クジラ、にわとり、ぶた…それぞれ異なる速さに驚いたり、メトロノームの速さに手拍子を合わせて叩いてみたり、胸に手を当てて自分の心臓の速さと比べてみたりしていました。実はタコには心臓が3つある、ヒトデは心臓がないという話をすると、「体のどこにあるんだろう?」「じゃあなんで生きてるの?」と、新しい知識が増えると、さらに「なぜ?」が広がり、興味が深まってきます。その後しばらく、子どもたちが自分でメトロノームを合わせて速さを聞き比べたり、ヒトデについて図鑑で見たり、会った人に心臓の話をしたり、心臓ブームが続きました。

乳幼児期は学ぶ力の土台があそびや生活を通して形成される時期といわれています。これからも私たち大人が子どもの「なぜ?」「知りたい」という気持ちを汲み取り、一緒に考えていく環境づくりを心掛けていきたいと思えます。



社会福祉法人 三鷹市社会福祉事業団 経営理念

人びとが健やかに安心して暮らせるよう、公正かつ思いやりのあるサービスを提供することにより、地域における信頼を創造します。

三鷹市社会福祉事業団施設等一覧

高齢者福祉部

- 三鷹市牟礼老人保健施設はなかいどう
TEL:0422(44)7700 ☑ info-hanakaido@mitaka.or.jp
- 三鷹市井の頭地域包括支援センター
TEL:0422(44)7400 ☑ info-houkatu@mitaka.or.jp
- 在宅福祉サービス
TEL:0422(43)8804 ☑ info-zaifuku@mitaka.or.jp
- はなかいどう指定居宅介護支援事業所
TEL:0422(76)8815 ☑ info-kyotaku@mitaka.or.jp
- ヘルパーステーションはなかいどう
TEL:0422(43)8810 ☑ info-station@mitaka.or.jp
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼 6-12-30
- 井の頭地域福祉支援センター
TEL:0422(24)7335 ☑ info-inokashira@mitaka.or.jp
〒181-0001 東京都三鷹市井の頭 2-32-30
(井の頭コミュニティ・センター新館 1階内)

児童福祉部

- 児童支援室/TEL:0422(24)8881
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30
- 三鷹市立母子生活支援施設三鷹寮
- 三鷹西野保育園/TEL:0422(39)7030
〒181-0016 東京都三鷹市深大寺3-3-10
- 三鷹ちどりこども園/TEL:0422(72)9220
〒181-0012 東京都三鷹市上連雀4-12-26
- 三鷹駅前保育園/TEL:0422(79)5441
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀3-30-12
- 三鷹南浦西保育園/TEL:0422(40)7551
〒181-0013 東京都三鷹市下連雀7-2-1
- 三鷹赤とんぼ保育園/TEL:0422(40)0600
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼3-9-3

本部事務局

TEL:0422(44)5211 ☑ info@mitaka.or.jp
〒181-0002 東京都三鷹市牟礼6-12-30

ホームページ <https://www.mitaka.or.jp/>